

歯科材料 03 義歯床材料  
一般医療機器 歯科印象トレー用レジン JMDN 70832000

# ベーシングレジン

## 【警告】

- ・本材又はメタクリレート酸系モノマーに対して、発疹、皮膚炎等の過敏性の既存歴のある患者又は術者は使用しないこと。
- ・本材の硬化体を切削する場合には防塵マスク等の保護具を着用し、粉塵を吸入しないこと。

## 【禁忌・禁止】

- ・指定された用途以外には使用しないこと。
- ・人体、口腔内で直接使用しないこと。

## 【形状、構造及び原理等】

本材は下記記分より校正される。

粉材：二酸化ケイ素・ポリメチルメタクリレート (PMMA)・BPO・スチロール共重合体・顔料

液材：メチルメタクリレート(MMA)・ジメチルパラトルイジン・流動パラフィン

## 【使用目的又は効果】

粉材と液材で構成される常温重合レジン。  
印象個人トレー及びベースプレート作成用のレジン。

## 【使用方法等】

### 〔個人トレー作成〕

- ①模型のアンダーカット部を除き、印象材のスペースを確保するためパラフィンワックスを模型上に圧接します。
- ②粉材と液材を付属の計量器で採取し、約30秒間充分に混和します。  
粉液比は粉材計量スプーン1杯に対し、液材計量カップ5目盛りです。  
(標準混液比は粉材10gに対し液材4ccです)
- ③混和開始後30秒で手指に付着しなくなります。ポリエチレンシートにはさんで厚さ2mm程度のシート状に伸ばします。
- ④伸ばした本材をパラフィンワックスを圧接した模型上にのせ、全体を軽く圧接して形態を整えます。
- ⑤辺縁の余剰部を彫刻刀等でトリミングし、保持孔を必要とする場合にはインストゥルメント等を利用し開孔します。(本材硬化後の開孔はラウンドバーなどを用います)
- ⑥取手は本材硬化前に本材の液材を接合部に塗布し接着します。
- ⑦完全硬化したならば模型から外してヤスリ、スタンプバーなどで仕上げます。

### 〔ベースプレートの作成〕

- ①作業模型の粘膜面にレジン分離材を塗布します。
- ②個人トレー作成と同じ要領で一定の厚さ (1.4mm) で顎全体の形を形成します。
- ③圧接したシートを作成模型上に圧接します。模型の中心から外に向かって空気の埋入を防ぎながら圧接して下さい。
- ④硬化する前に辺縁の余剰部分を彫刻刀等でトリミングし、トリミング後の辺縁に液材を塗布しインストゥルメント等を利用し辺縁を滑らかにします。

## 【使用上の注意】

### 1) 使用注意

- ・粉材、液材の計量は専用の計量器を使用し、正確に計量すること。
- ・液材は可燃性なので下記の近くで使用しないこと。
- ・本材を使用する際には適正な換気(1時間当たり数回の換気)を行うこと。
- ・本材の硬化体を切削・研磨する際には局所吸塵装置、公的機関が認定したマスク等を利用し粉塵を吸入しないこと。
- ・本材は個人トレー及びベースプレート作成用途以外には使用しないこと。
- ・他製品とは混用しないこと。
- ・本材は歯科医療有資格者以外には使用しないこと。

### 2) 重要な基本的注意

- ・本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腸脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者又は術者においては、直ちに使用を中止し、専門医の診察を受けさせる又は受けること。
- ・本材の研削、研磨の際には保護メガネ等を使用すること。
- ・本材が万一目に入った場合には、直ちに大量の水で洗浄した後、眼科医の診断を受けさせる又は受けること。

## 【保管方法及び使用期間等】

### 〔保管方法〕

- ・本材は高温、多湿の場所を避けて保管すること。
- ・開封後は密閉し保管すること。
- ・液材は開封後、使用時以外は密閉し、直射日光が当たらない場所で保管すること。
- ・粉材・液材は可燃性なので、火気の近くでの保管や同じ所で大量に保管しないこと。
- ・本材は歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管、管理すること。

### 〔使用期間〕

- ・外装に記載あり。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

社 名：有限会社プロップ  
電 話：052-618-5777